

水浴場(開設前)の水質調査結果(2024年度)について



環境省は、2024年4月上旬～同年6月上旬にかけて地方公共団体を実施した、全国の「水浴場(開設前)の水質調査結果」について取りまとめました。調査対象水浴場は、海水浴場と湖沼・河川の水浴場で、調査対象項目は、ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、化学的酸素要求量(COD)、透明度の4項目です。

調査の結果、調査した759か所の水浴場すべてが、水浴場として適当な水質でした。また、良好な水質である「適」(水質AA又は水質A)にランクされた水浴場数は613か所で、全体の81%でした。そのうち、特に良好な水質(水質AA)である水浴場は429か所で、全体の57%となっています。

また、参考項目として調査した項目のうち、腸管出血性大腸菌0-157については、548か所の水浴場で実施され、すべての水浴場で不検出となりました。

当社では、河川水等の環境水分析に加え、多くの排水項目の分析についても長年の実績があります。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談ください。

資料 [2024年6月28日付 環境省報道発表資料](#)

環境検査箇所 阪口玲子

消毒副生成物の検査の期間です！

特定建築物に該当する建物は、定期で水質検査が義務付けられています。中でも消毒副生成物の12項目は、水質検査の実施時期が決められており、6月～9月の間に実施する必要があります。詳しくは下記URLからもご覧いただけます。

特定建築物における水質検査:<https://www.knights.jp/knightsreport/reports/KR08005.pdf>

